

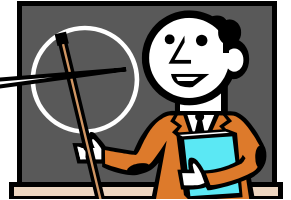


このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

なぜ「社会」の勉強をするの？



日々のニュースを理解するために必要な教科の1つ「社会」についてです。それでは、お願いします。



教科を通してどんな力を育てていきますか？

社会科の授業では、様々な社会的事象（地理や歴史・公民）を学ぶ中で、個人と社会とのかかわりについて理解を深め、「社会的な見方や考え方」の基礎を身に付けるとともに、社会の変化に適切に対応し、その中で「自ら学び、自ら考える力」を養うことを目指しています。これは基礎的・基本的な知識や技能の習得、思考力、判断力、表現力等を養うことなど、いわゆる「生きる力」を身に付けさせることに深く結びついています。



身に付いた力は社会に出てからどう役立ちますか？

現代社会は、情報化や国際化などの波が急速に押し寄せています。また社会が急速に変化し、価値観が多様化する中で自分の目標や自己実現に向けて粘り強く努力し続ける力や態度が一層重要になります。このような中で、社会科の学習で培った「社会的な見方や考え方」（物事を一面からとらえず、様々な角度から総合的に考察したり、それらに関連付けたりすること）を用いて、変化する社会の中で、主体的に対応して生きていくことができたり、自らの考えを分かりやすく他者に伝える表現力などを身に付けたりできるようになると考えられます。これらの力を身に付け、様々な事柄に主体的に参画できる社会の一員となってください。



「キャリア教育」コラム Part 2 キャリア教育を通して育てたい4つの能力（その2）

人間関係形成・
社会形成能力

自己理解・管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

この能力は、自分が「できること」「意義を感じる」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちながら主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情をコントロールして、今後の成長のために進んで学ぼうとする力のことです。

具体的な例としては、自己の役割の理解、前向きに考える力、自己の動機付け、忍耐力、ストレスマネジメント、主体的行動等があります。

